

マルコス ベセラ アップotts ガルヴァオ
駐日ブラジル大使

厚生労働省とJICEが「日系人就労準備研修」を本年度も実施されること、大変嬉しく思っております。日本語として労働関連情報に係る講義は、日本の労働市場へ外国人が参入する上で重要な手立てとなります。またブラジル人コミュニティにとっては、さらなる労働能力アップを図る素晴らしい好機になるものと信じています。



今年度で4年目になる本研修がこれまでと同様に成功し、受講者がこのチャンスを最大限に活用されることを心から祈っております。また、素晴らしい取り組みを企画された厚生労働省そしてJICEに対して賛辞を贈らせていただきます。

エラルド エスカラ
駐日ペルー大使

外国人が適切に日本での仕事に溶け込めるようご尽力をいただいております。日本国厚生労働省ならびに(財)日本国際協力センター(JICE)に対し、ペルー政府として拍手を送ります。昨年実施された研修のお陰で、約1,000名の日系ペルー人が日本語や労働法令、またビジネスマナーや雇用慣行等に関する知識を得ることが出来ました。



ペルー人の皆様がこの研修に参加され、将来の仕事に役立つスキルを身につけてくださることを希望いたします。

二宮 正人

ブラジル国サンパウロ市CIATE国外就労者情報支援センター理事長

日本国際協力センター(JICE)では、4年目の日系人就労準備研修を実施されること、ブラジルで訪日前の人々に対して、同様の業務に携わっている団体として、お慶び申し上げますとともに、敬意を表します。



私たちCIATEでも、かねてより訪日前に日本語の最低知識を身につけることが不可欠である旨を啓蒙してきましたが、多くの失業者、帰国者を記録した今回の経済危機に際して、ようやくその必要性が周知徹底されたように感じます。また、これまでに日本における法律、社会保険制度、納税、学校教育、生活習慣、自己啓発等の授業も行っていました。

JICEのプログラムはより充実しており、在日ブラジル人の皆様におかれましては、日本語講座を中心に、ぜひできるだけ多くの方々に受講していただき、日本に関する知識を深めていただきたいと思います。

今後ともJICEとCIATEの協力のますますの緊密化をお願いいたします。

アルベルト 松本

コンサルタント 実務法務翻訳家

南米の日系就労者の就労機会を増やすため、または定住化促進のため、日本政府がこのような日本語研修を設けてくれたことに感謝しなくてはなりません。みなさんが昨年に続いて今年もこのように頑張っている姿には敬意を表したいと思います。日本語をマスターすれば、スキルアップの職業訓練を可能にし、地域社会では隣人との実りある共存と理解促進になります。そして、日本の学校で教育を受けている皆さんの子供たちとのコミュニケーションも広がり、その結果日本の社会のすばらしいところもたくさん発見できるのではないかと思います。



南米に移住した日本人も、多くは皆さんのご先祖様ですが、その国で生まれ子を通じて社会との接点を持ち、職や事業のチャンスを増やしてきたのです。だから、100年以上の輝かしい歴史を迎えることができたのです。これからも頑張ってください！

山本 麻里

厚生労働省職業安定局 派遣・有期労働対策部 外国人雇用対策課課長

現在、日系人の方が日本において就職するに当たり、最大の問題となっているのが日本語能力であり、それが原因で就職に結びつきにくいという厳しい現状があります。

また、現在はこれまで多くの日系人の方が就労されていた生産現場の製造工程における職場環境も大きく変化しており、以前のように日本語が全く分からない方々でも通訳付で仕事や住居が確保され、日本語なしで生活できる状況ではありません。

今後も日系人の方が日本において就職するためには、やはり日本語をしっかりと習得する必要があります。一人でも多くの方が「日系人就労準備研修」を活用され、安定的な就労につながるよう期待しております。



お問い合わせ先
財団法人 日本国際協力センター

〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-14-24
西新宿KFビル3階

<http://sv2.jice.org/>

平成24年度 日系人就労準備研修

Año Fiscal 2012 Curso de Capacitación Preparatoria Laboral para Descendientes Japoneses

Ano Fiscal 2012 Curso Preparatório para Recolocaçao Profissional aos Descendentes Japoneses



日本語

主催: JICE <http://sv2.jice.org/>



厚生労働省委託事業

日系人就業準備研修 Q&A

Q1 研修の受講には、費用が必要ですか？

A 研修は無料です。テキストも無料で配布です。(但し、交通費は自己負担です。)

Q2 研修の期間はどのくらいですか？

A 概ね3ヶ月程度ですが、会場やクラスによって期間は変わります。

Q3 研修は誰でも受けられますか？

A 対象者は次の方です。

- ・原則として、ブラジル・ペルーなどの南米諸国の国籍を有し、かつ在留資格が「日本人の配偶者等」、「永住者」、「永住者の配偶者等」、「定住者」である方※南米諸国以外の方もご相談下さい。
- ・早く次の仕事に就きたいと思っているが、日本語や日本での働き方、日本の法律などの知識やスキルが不足しているため、安定して働くことが難しい方。

Q4 昼間はアルバイトをしています。日本語を勉強して、もっと安定した職業に就きたいと思っています。研修に参加できますか？

A 土日や夜間のクラスもありますので、アルバイトをしながら通うこともできます。

Q5 研修はどこで実施されていますか？

A 茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・石川・山梨・長野・岐阜・静岡・愛知・三重・滋賀です。

※各地域のコース情報は、JICEのHPをご覧ください。

Q6 研修に参加したいのですが、どこで申し込みをしたらいいですか？

A 公共職業安定所（ハローワーク）に申込書を提出してください。

Q7 研修では、どんなことを勉強しますか？

A 内容は概ね次の通りです。

- ・日本語講習：日本での就職活動や日本で働く上で必要な日本語を勉強します。
- ・面接の受け方
- ・履歴書の書き方
- ・求人票の見方
- ・就労講義：日本での働き方や法律の知識を学びます。
- ・就労カウンセリング
- ・職場体験／見学

Q8 講義は日本語で行なわれるのですか？

A 日本語が分からなくても、心配しないでください。プロの日本語の先生が、分かりやすく日本語を教えてください。

また、ポルトガル語／スペイン語ができるスタッフが皆さんの研修をサポートします。そのほか、就労カウンセリングや就労講義では、通訳有で専門の先生の講義を受けることができます。

Q9 研修で学べる日本語のレベルは？

A レベル別のクラスがあります。日本語能力検定合格基準レベルの実践的な日本語を学べます。また、職業訓練を受講するための専門分野のクラスもあります。

Q10 就職活動等をする際に、研修を受講したことを証明することはできますか？

A 研修の受講を修了した方には、修了証書を授与しています。

Q11 今まで、工場でしか働いたことがないので、不安です。他の職場の様子を知りたいのですが。

A 研修では、職場体験／見学もあり、実際の職場の様子や求められる能力を知ることができます。

受講者の声



過去にもコースを受けさせて頂きました。その結果ひらがなとカタカナの読み書きは出来るようになりました。しかし、まだ勉強が足りないので、この機会に、私の日本語の会話力と理解力を高めたいと強く思っています。

言葉だけでなく、日本の習慣や労働法などたくさんのお話を学ぶことができました。これから日本で生活していくうえで大きな自信になりました。またこのような機会があれば是非参加したいと思います。

来日してからももう10年経ちました。(中略)日本語学校を探したのですが、授業料が高く、学校には行くことができませんでした。自分で勉強するしかないと思ったので、テレビを見ながら新しい言葉をピックアップしたり、色々などころに書いてある漢字をメモして、覚えたりしました。簡単な会話がだんだん分かるようになりましたが、頭の中に様々な疑問が生まれ、自信がなくて話が良くなりませんでした。

そのような時に、私は日系人就業準備研修に参加することができました。そこには、私と同じ日本語を勉強したい人がいました。みんな何年間もこのようなチャンスを探していたので、毎日の授業は最初から熱心に参加し、一生懸命勉強しました。この研修では、日本語の授業だけでなく、労働法や履歴書の書き方、面接のマナーなどを学びましたので、私たちにとってとても有益でした。それに先生たちはみんな親切で分かりやすく、日本語の勉強が楽しくなりました。

このような機会を与えていただき、心から感謝します。

工場以外に勤められるようなレベルまで日本語を学びたいです。私自身は犬が好きなのでペットショップで接客の仕事をしたいです。

私は日常生活を通じて自然に日本語を覚えたので、間違えてしまう言葉がたくさんありました。日本語学校で日本語の勉強をしたかったけれども、仕事が忙しくてなかなか勉強する時間がありませんでした。

2008年末から日本の経済が悪くなってきました。多くの人は仕事を失ってしまいました。このような不景気な時代に日本語の読み書きやコミュニケーションが出来ない人は新しい仕事を見つけるのが難しくなりました。

ハローワークへ行ったときに、この日系人就業準備研修の話を聞いて、すぐに申し込みました。約2ヶ月間、ほとんど毎日勉強しましたが、私たちは新しい言葉や漢字や履歴書の書き方や面接のマナーなど、いろんなことを覚えました。そして、今まで知らなかった法律のことや健康保険のこともわかるようになりました。先生方は私たちに分かりやすく教えてくださいました。どんな難しい勉強でも毎日とても楽しかったです。クラスの仲間とお互いに支えあいながら頑張りました。この研修は自分自身の大きな向上になりました。ここで学んだことが新しい仕事に活かせるかと信じています。

受講を修了したみなさんは？

ブラジル 30代 男性の例

石川県金沢市にある雇用・能力開発機構の公共職業能力開発施設（職業訓練校）である「ポリテクセンター石川」で実施された公共職業訓練コース「テクニカルオペレーション科」（CAD/CAM、NC旋盤など機械加工関係の6ヶ月訓練）に小松市で実施した就労準備研修修了者（ブラジル人）が参加しました。日本人向けのコースに、日本語のハンデを克服して受講を認められたケースとして、地元の北国新聞にも取り上げられました。

ボリビア 40代 女性の例

本研修修了者が、介護の公共職業訓練を受け、その訓練を通じてホームヘルパーの資格を取得しました。現在は、ハローワークの紹介で介護の仕事をしています。担当者は彼女の働きぶりを認め、仕事を依頼することが増えるようになりました。ご本人は「これまで多くの日系人が就いていた工場での仕事は機械的でロボットのような仕事でしたが、介護の仕事は、もっと人間らしい仕事だと感じています。勉強して日本語能力が上がれば、いい仕事につく可能性が広がり、それによって生活の質を上げることもできます」とコメントしています。

